

□□ _____ □□

1. お知らせ … 2020年度定時総会報告

□□ _____ □□

6月20日（土）東京・小伝馬町ニッケイビルにて、2020年度定時総会が開催されました。当日は、コロナ感染防止のため、書面表決をお願いしましたが、総会運営のため山崎事務局長、渡邊監査、荒井理事、下田事務局長、川井の5人が集まりました。会員64人中、書面表決44人（68.8%）全員が議案承認ということもあり、具体的な活動案を中心に話し合いました。

以下、決定した要点です。

- 1) Web会議、Web研修の実施
遠方のために参加できない会員のために、Web会議やWeb研修を積極的に活用する。7月からZOOMと契約し、会議やアドバイザー研修に使う。
- 2) 「自費出版」のネットPR・販売を検討
Afterコロナ、withコロナ対策として、WEB・動画等を活用した自費出版の新しいPR・販売方法を検討していく。具体的には、
（1）「J S N-Youtubeチャンネル」を開設し、書籍のPRの支援や、
（2）ZOOM等を活用したネット即売会の開催を企画する。
ただし、様々な要素を統合した仕組みを考える必要があるので、今後の検討課題。
- 3) 会員3種制度の実施
会員3種制度は、6/20付で施行されましたが、外部に対しては定款の変更と併せて7/1からWebサイトで明示する。
（会員3種制度：法人会員24,000円/年、個人事業者会員12,000円/年、個人会員3,000円/年、いずれも入会金無し）
- 4) 認定アドバイザー試験2段階方式（2021年実施）の準備
認定アドバイザー試験の2段階方式を2021年から実施するために、年度内に準備をする。試験改革チームをつくる。
- 5) 役員改選で新たに坂本氏（リーブル）と渡辺氏（あいわプリント）が就任
（新体制は別紙ご参照）

役員改選がありました。新任退任は、新たに高知県の株式会社リーブルの坂本圭一郎が理事、北海道の株式会社あいわプリントの渡辺辰美さんが顧問、筑井信明さんが名誉顧問に就任しました。また、京都府の株式会社京都青倉の青倉一人さんが退任となりました。

□□ _____ □□

3. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.31

□□ _____ □□

※この原稿は縦書きでいただきました。その方が味わいがありましたので、PDFにて添付いたしました。原文はそちらをご覧ください。

「出合ひもの」

ふたりの友人、50年来付き合いの男性は5つ上の、女性はひとまはり上の87歳。それぞれの伴侶から最近ハガキがあった。小柄ながら力感あった彼は脳血栓で一歳児に戻り、細い彼女は肺がんだったといふ。

若い時分、私の田舎に彼を伴って行ったとき、生前の母に、お前もこの人のやうになれ、と諭された。後々自分の本かならず一冊、と彼は言ったが、これから、どうだらう。

彼女は、むかし国語の先生で同人誌の会員だった。知り合って半年ほどして、あなたの田舎に寄って来ましたよと涙を滲ませ、ふらつく私を支へた。いはき平の生まれと知った。

本の上梓のあかつきには、お互ひいっぱい話をしませうと約束した。清澄な彼女の本は人柄そのままに、さらに一年後出来上がった。体調が優れないと言ってみだが、届けは別の者に、後で伺ふことにして頼んだ。その月末近くに彼女は亡くなってゐたといふ。これまで電話一本掛けなかった。杖に他依らなくてもよくなった姿で、などとの言ひ訳が、大切なものを遠くに流した。

□□ _____ □□

☆ 知つとこ 愛知 ☆ その2

□□ _____ □□

熱田神宮

皆さんは熱田神宮をご存じですか？今の大河ドラマ「麒麟がくる」やタモリさんの「ブラタモリ」でも取り上げられている場所です。はるか神代の時代からここにおわします、遠く出雲の地からの御宝、三種の神器の一つである「草薙の剣」をご神体に行している神社です。地勢でいけば名古屋のど真ん中、熱田台地の南端に位置し、その周辺の地名からみると、以前は海辺に面していたのではと思われま

この熱田神宮でも特に厳かな空気が流れる神域をご紹介します。熱田大神の荒魂を祀る一之御崎神社に至るまでの「こころの小径」です。本殿横から入る道があるのですが空気感がガラリと変わる感じがします。せっかくなので「こころの小径」まで足を延ばしていただき、この張り詰めた空気を味わっていただきたいです。

ただ私にとっては「あつたさん」地元ではそう呼んでいましたが、学校のランニングの目的地だったり、衣替えの時に開かれる「あつた祭り」であつたり、お社の深い木々に囲まれた静謐な図書館のある場所でした。

長い歴史の中で育まれた場所は、今も息づくパワースポットです。ぜひ一度訪れて、長い歴史のパワーをいただいでください。

株式会社マルワ 長谷川 潔

★あとがき

「会員便り」の杉並けやき出版の小川さまからいただいた原稿は、
縦書きで旧仮名遣い。
短い文章の中に深く渋い味わいがありました。

最近パソコンにスマホ、すべて文字は横書き。
若者は縦書きが苦手で読み飛ばす傾向もあるらしいですが、
読書する本の多くは縦書き。

読書離れはここからくるのでしょうか・・・。

ただ、私は縦書きの本を読むと頭がスッキリします。
「行間を読む」なんていうのもやっぱり縦書きなら伝わる気がします。

組版は奥が深いですね～。

暑さもこれからが本番の7月。
コロナ、マスク、熱中症・・・
いろいろ気を使う夏になりそうですが、皆さまどうぞご自愛くださいませ。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。